

平成14年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2003. 3

交野市教育委員会

例　　言

- 1 本書は交野市教育委員会が、平成14年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
- 2 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
- 3 本書で使用したレベル高は海拔絶対高で、方位は磁北方位である。

目 次

例 言

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況	1
第2章 発掘調査報告	8
第1節 交野郡衙跡2002-2次	8
第2節 寺村遺跡・大畠古墳2002-1次	11
第3節 星の森遺跡2002-3・-4次	14
第4節 外殿垣内遺跡2002-1次	16

挿 図

図1 遺跡分布図	5
図2 調査地位置図(1)	6
図3 調査地位置図(2)	7
図4 調査地位置図	8
図5 調査区配置図	9
図6 調査区北側断面図	9
図7 遺構平面図	10
図8 遺物実測図(1)	10
図9 遺物実測図(2)	11
図10 調査地位置図	12
図11 調査区配置図	12
図12 遺構平面図	13
図13 調査区断面図	13
図14 遺物実測図	13
図15 調査地位置図	14
図16 調査区配置図	14

図17	遺構平面図	15
図18	調査区断面図	15
図19	遺物実測図	15
図20	調査地位置図	16
図21	調査区配置図・遺構平面図	16

挿 表

第1表	平成14年度発掘調査一覧(1)	1
第2表	平成14年度発掘調査一覧(2)	2
第3表	平成14年度発掘調査一覧(3)	3
第4表	平成14年度発掘調査一覧(4)	4

図 版

図版1	交野郡衙跡2002-2次調査土壤1検出状況
図版2	交野郡衙跡2002-2次調査調査区全景
図版3	交野郡衙跡2002-2次調査ピット出土状況
図版4	交野郡衙跡2002-2次調査遺構検出状況
図版5	交野郡衙跡2002-2次調査出土遺物(1)
図版6	交野郡衙跡2002-2次調査出土遺物(2)
図版7	寺村遺跡2002-1次調査遺構検出状況
図版8	寺村遺跡2002-1次調査遺構検出(左)完掘状況(右)
図版9	寺村遺跡2002-1次調査溝検出状況
図版10	寺村遺跡2002-1次調査ピット検出状況
図版11	寺村遺跡2002-1次調査ピット検出状況
図版12	寺村遺跡2002-1次調査遺構完掘状況(東から)
図版13	寺村遺跡2002-1次調査出土遺物(1)
図版14	寺村遺跡2002-1次調査出土遺物(2)
図版15	星の森遺跡2002-3次調査遺構検出風景
図版16	星の森遺跡2002-3次調査遺構完掘状況
図版17	星の森遺跡2002-3次調査溝1検出状況

- 図版18 星の森遺跡2002－3次調査溝2検出状況
- 図版19 星の森遺跡2002－3次調査出土遺物
- 図版20 星の森遺跡2002－2次調査区
- 図版21 外殿垣内遺跡2002－1次調査地全景
- 図版22 外殿垣内遺跡2002－1次調査遺構面検出状況
- 図版23 外殿垣内遺跡2002－1次調査遺構検出状況

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成14年4月1日から平成15年2月28日に至る間、交野郡衙跡他17件の補助事業に係る発掘調査を実施した。埋蔵文化財の届出件数は、平成15年2月28日現在では75件であり、昨年の同時期における届出件数が80件であることから、ほぼ同様である。しかしここ数年のデーターでは届出件数は、減少傾向を示している。

工事の種別では、個人住宅建設が全体の3割、分譲住宅建設が3割、宅地造成が1.5割、共同住宅が0.5割弱、その他2割となっている。遺跡別に見てみると届出件数の最も多かったのは、交野郡衙跡の22件、ついで森遺跡の11件、天田神社遺跡の8件、星の森遺跡の8件、その他で、特に交野郡衙跡の場合、分譲住宅建設に伴う届出が大半を占めていた。また森遺跡の場合は区画整理事業後の土地の利用として、共同住宅（マンション）建設に伴う届出の提出されるケースが多かった。今後もこのようない傾向が見られるものと思われる。

今年度補助事業に係る確認調査の対象となった遺跡は、交野郡衙跡、天田神社遺跡、森遺跡、寺村遺跡・大畠古墳、外殿垣内（とうのがいと）遺跡、神宮寺遺跡、私部南遺跡、星の森遺跡、でがしろ遺跡の9遺跡19件である。このうち遺構確認のため調査範囲を広げた遺跡は交野郡衙跡、寺村遺跡・大畠古墳、星の森遺跡、外殿垣内遺跡でそれぞれ1調査区ずつであった。詳細については別に一覧表を記載する。なお確認調査の対象とならなかった届出の内訳は、発掘調査7件、立会調査は5件、慎重工事は44件となっている。

平成13年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
1	14.5.30	でがしろ遺跡 2002-1次	私部1丁目 1209-1の一部	調査区東北部分に約0.8×3.8mのトレーニングを設定し、約0.7mまで重機による掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

第1表 平成14年度発掘調査一覧(1)

平成14年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
2	14.5.2	交野郡衙跡 2002-1次	郡津1丁目 155-1.156-1	調査区内中央付近に約0.7×4.0m、南側に東西方向約1.0×5.0m、南北方向約1.0×5.0mの十文字トレンチを設定し、重機にて掘削の後、人力にて精査した。南側トレンチ内から須恵器・土師器・瓦質土器・瓦等を検出したが、遺構は検出しなかった。
3	14.5.30	私部南遺跡 2002-1次	私部南2丁目 379-2	調査区内東北部分に約1.0×4.0mのトレンチを設定し、重機にて約1.0mの深さまで掘削の後、人力にて精査した。遺構を検出したが、層が希薄で遺物は瓦器片のみであった。
4	14.7.18～ 8.2	交野郡衙跡 2002-2次	郡津2丁目 1770	調査区中央部分に約30×2mのトレンチを設定し、重機にて約0.4mの深さまで掘削の後、人力にて精査した。中世の掘立柱建物などを検出した。 (本書8ページに記載)
5	14.8.7	星の森遺跡 2002-1次	星田7丁目 2178-3の一部	調査区中央部分に約0.9×0.9mのトレンチを設定し、人力にて約0.5mまで掘削の後、トレンチ内北側半分を更に約0.5mほど掘削した。遺構・遺物は検出しなかった。
6	14.8.27	森遺跡 2002-3次	森南1丁目 385-2	調査区中央部分に約1.5×8.7mのトレンチを設定し、重機にて約1.2mまで掘削の後、人力にて精査した。遺構・遺物は検出しなかった。
7	14.9.19	星の森遺跡 2002-2次	星田7丁目 2072-3-4	調査区中央部分に約1.0×2.0mのトレンチを設定し、人力にて約0.5mまで掘削を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

第2表 平成14年度発掘調査一覧(2)

平成14年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
8	14.10.17	私部南遺跡 2002-2次	私部南2丁目 452-2	調査区内南側部分に約1.2×4.4mのトレーニチを設定し、約0.7mまで重機にて掘削の後、人力により精査を行った。表土下約0.7mで、中世の鋤溝及びピットを検出し、遺物として須恵器片、土師器片を検出した。
9	14.10.17	天田神社遺跡 2002-1次	私市3丁目 19-2.20-2. 21-2	調査区西北隅に約1.0×3.2mのトレーニチを設定し、重機にて約1.5mまで掘削の後、人力により精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
10	14.11.14～ 11.22	寺村遺跡・ 大畠古墳 2002-1次	寺1丁目274	調査区内南東部分に約2.2×4.2m、その西隣に約1.5×6.3mのトレーニチを設定し、重機にて掘削の後、人力により精査を行った。西側トレーニチ内からは地表下約0.2mで、中世のピット、土壤、溝などを検出した。 (本書11ページに記載)
11	14.12.9～ 12.11	星の森遺跡 2002-3次	星田7丁目 2163-2他1筆	調査区内、東側部分に約1.2×2.5mのトレーニチを2ヶ所設定し、重機にて約0.8m掘削の後、人力により精査を行った。遺物として東側トレーニチ表土内より石器1点を検出したが、遺構は検出しなかった。 (本書14ページに記載)
12	14.12.9～ 12.11	星の森遺跡 2002-4次	星田7丁目 2163	調査区内中央部分に約4.3×21.5mのトレーニチを設定し、重機にて掘削の後、人力により精査を行った。表土下約0.2～0.3mで溝・ピットを検出し、遺物として石器・土器片を検出した。 (本書14ページに記載)

第3表 平成14年度発掘調査一覧(3)

平成14年度届出分

	調査日	遺跡名	調査地	調査内容
13	14.12.25	外殿垣内遺跡 2002-1次	藤が尾5丁目 58-3	調査区内南側部分に約2.6×5.5mのトレンチを設定し、重機にて約0.5mの深さまで掘削の後、人力により精査を行った。溝・ピットを検出した。 (本書16ページに記載)
14	15.2.4	私部南遺跡 2002-3次	私部南4丁目 362-6	調査区内東側に約1.3×5.7mのトレンチを設定し、重機により約1.4mまで掘削の後、人力により精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
15	15.2.13	森遺跡 2002-4次	森北1丁目 101-2	調査区内南よりの部分に約1.3×3.8mのトレンチを設定し、重機により約0.9mの深さまで掘削の後、人力により精査を行った。地表下約0.8mで溝を検出した。
16	15.2.24	天田神社遺跡 2002-2次	私市1丁目 35-1.36	調査区内北側部分に約1.0×2.0mのトレンチを設定し、重機にて約1.1mまで掘削の後、人力により精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。
17	15.2.25	神宮寺遺跡 2002-1次	神宮寺2丁目 47-1-2の各一部	調査区内北西部に約0.9×1.0mのトレンチを設定し、人力により約0.6m掘削の後、精査を行った。遺構・遺物は検出しなかった。

第4表 平成14年度発掘調査一覧(4)

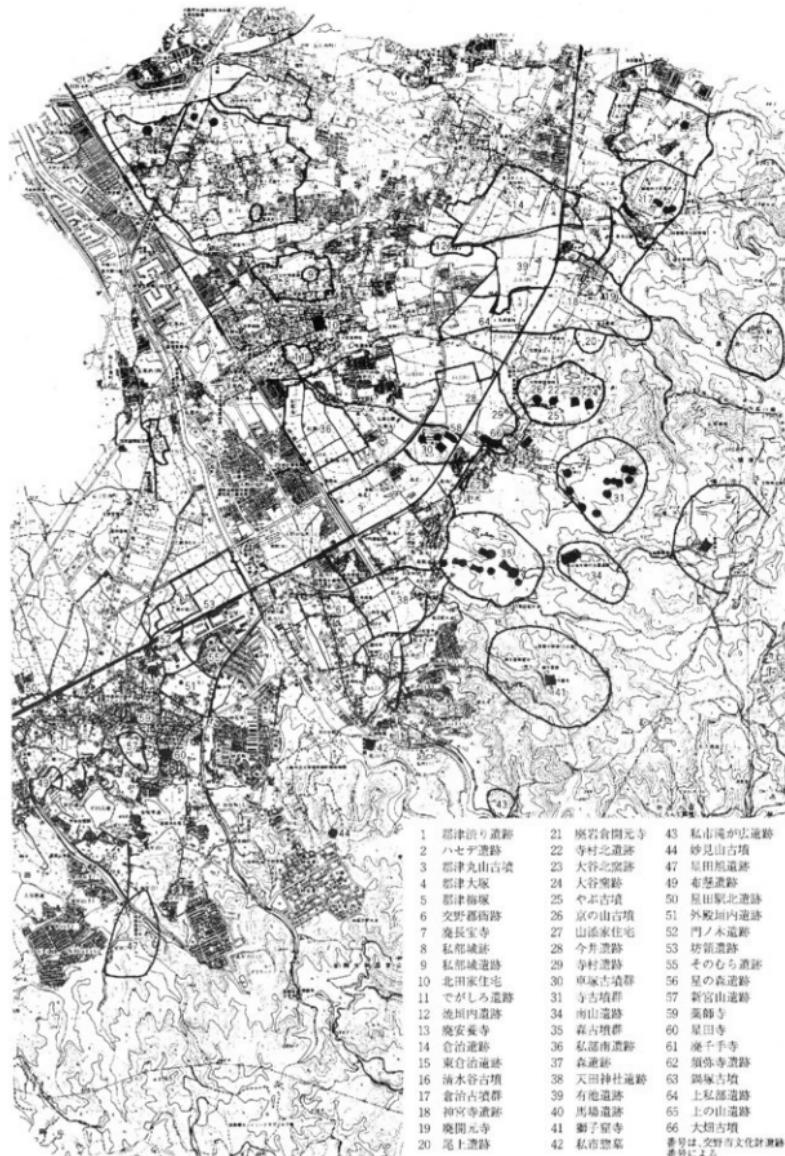


図1 遺跡分布図

図2 調査位置図1) (1 : 15,000)



図3 調査地位置図(2) (1 : 15,000)



第2章 発掘調査報告

第1節 交野郡衙跡

交野郡衙跡2002-2次調査

宅地造成に伴う確認調査で、道路建設予定部分である調査区中央部分に東西約30m×南北約2.0mのトレンチを設定し、重機にて掘削を行った。旧水田耕作土及び床土を除去した時点、地表下約0.3mで明黄褐色シルト層（郡津地区一帯の台地上の地山層）となった。その上面から中世の遺構を検出した。遺物包含層はなく、遺構内埋土は、にぶい黄褐色シルトに灰褐色シルトがまばらに混ざった土質であった。当調査地は、分譲住宅建設予定地であるが現地表面より更に30cm程盛土を行うため、基礎工が遺構面にまで影響の及ぶおそれのないことから、図面及び写真にて記録保存を行うこととした。

遺構は、掘立柱建物の柱穴と思われる柱穴群を検出した。これらの柱穴の中には大きさや形の似た2種類の柱穴が見られた。まず掘形の一辺の長さが約50cm～60cmの四角形で、柱穴の直径約20cm～30cm、深さ約20cmの円形で大きなものが4基と、柱穴の直径約30cm、深さ約30cmの円形で、やや小ぶりのものが5基出土した。遺物が微量で、また切り合い関係なども見られなかったため、両柱穴間における時期差は判らなかった。また建物の規模などは、調査範囲が狭小なため不明である。調査区の西北隅からは、断面にかかった状態で土壙を検出した。そのため土壙の規模を知ることはできないが、検出した部分では東西方向約4.2m、南北方向約90cm、深さ約15cmを測り、浅い平らな床面をもつ四角い土壙と考えられる。



遺物は、ピット4より須恵器片・土師器片を、土壌内より須恵器・土師器・黒色土器等を検出した。ピット4については遺物があまりにも微少であり、時期を特定できないが、土壌については、遺構の廃絶時期は中世とした。

なお調査地域の周辺では、かつて北側100m程のところから谷（渋り谷）になり、この谷の対面から古墳時代中期の高床式倉庫（郡津渋り遺跡）を検出している。また平成10年度に確認調査を行った交野郡衙跡98-1次調査区は、今回の調査区とは道路をへだてて南西に位置し、遺構面の標高もほぼ同様、遺構の内容も同様で2種類の柱穴からなる掘立柱建物を検出している。これまでの調査からも郡津2丁目・幾野3丁目付近（交野郡衙跡）では掘立柱建物に伴う柱穴が多数検出したことが報告されており、付近一帯の台地上には古墳時代～中世に至るまで栄えた集落地域であったことがうかがえる。

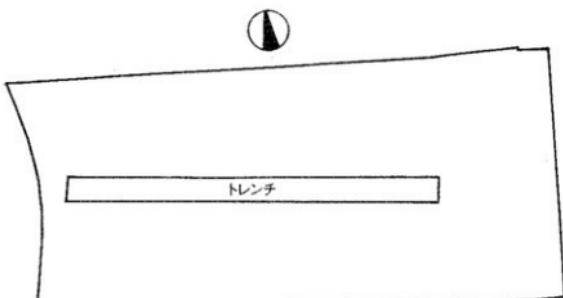
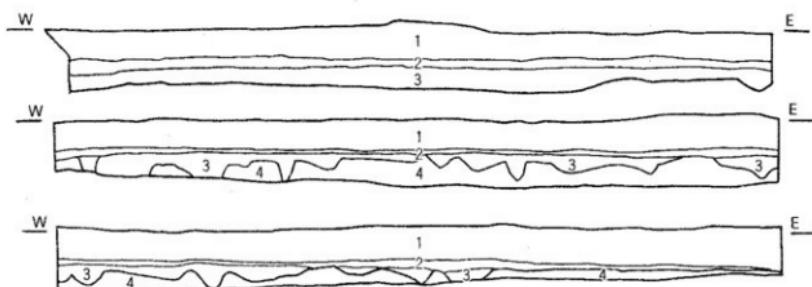


図5 調査区配置図 (1:400)



1. 表土 2. 7.5YR5/6砂質土 3. 10YR6/3シルト 4. 10YR6/6シルト

図6 調査区北側断面図 (1:40)

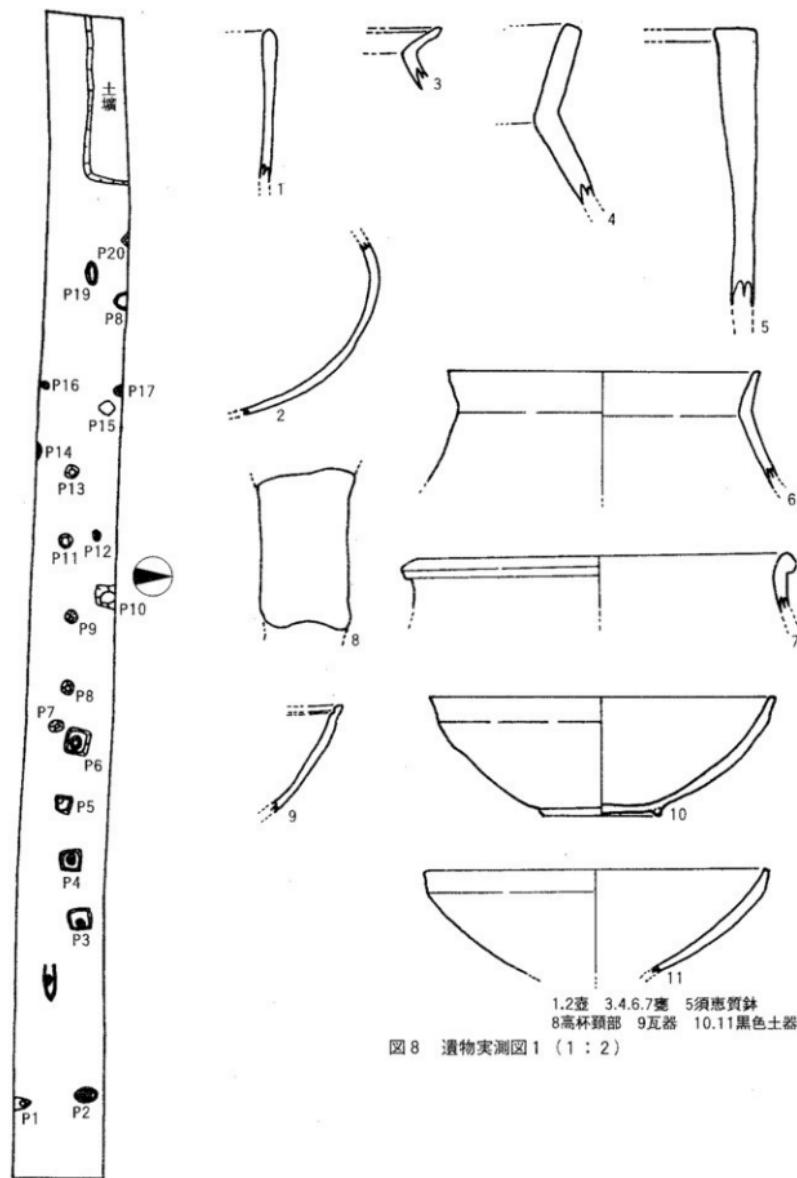
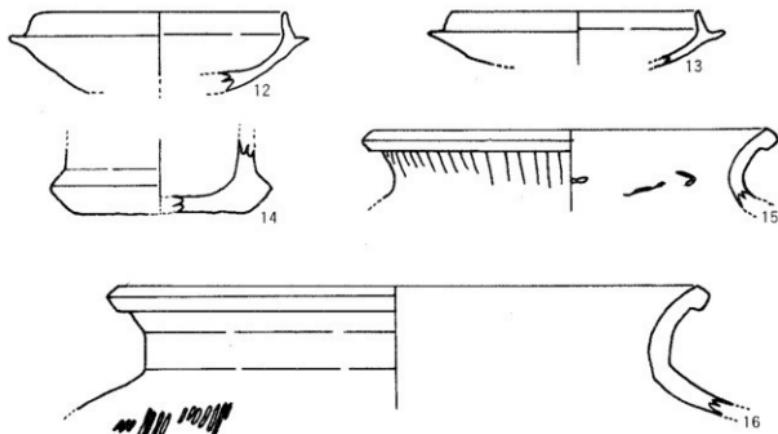


図 8 遺物実測図 1 (1 : 2)

図 7 遺構平面図 (1 : 125)



12-13須恵器杯 14須恵器壺底部 15-16壺
図9 遺物実測図2 (1:2)

第2節 寺村遺跡・大畑古墳

寺村遺跡・大畑古墳2002-1次調査

当調査地は、昭和53年緊急発掘調査で弥生時代の集落遺構及び古墳時代の遺物を検出した場所より約50m西側の地点で、尾根の西端部にあたる。昨年度前方後円墳であることが判明した大畑古墳の確認調査地にも近く、今回の調査ではこの古墳の後円部周溝を検出する可能性もあったが、調査の結果中世の遺構を検出したのみで古墳時代の遺構を発見することはできなかった。調査は、まず調査地の東南部に $2.2 \times 4.2\text{m}$ 大の調査区を設け、約1mの深さまで重機による掘削を行い、人力によつて精査したが、遺構・遺物は検出できなかった。さらに調査区西側部分を掘削したところ、表土下の浅い部分で中世のピットを検出したため、調査区を拡大して調査を行った。表土（黄灰色砂質土）下約15cmで、地山層である浅黄色シルト層になつた。この層の上面で遺構を検出したが、遺構面は凹凸が激しく、すでに上部が削られてしまっていた。また、地形は東側が高くなっているため、土地を水平利用するのに、遺構面も東に向かうほどひどい削平を受けていた。

主な遺構として溝、ピット、土壤などを検出した。溝は、最大幅約80cm、深さ約

40cmで北東部から南西方向に流れていたと思われる。埋土は褐灰色シルトで、この中から土師器、瓦器、陶器片などを検出した。図14の8は、耳皿でこの溝の上層部から出土した。ピットは、溝周辺で直径25cmのピット3基と、調査区中央から東側にかけて直径30cmから40cm大のピット16基を検出した。特に東側のピット群は遺構の切り合いから時期差が見られた。ピット11は、ピット3と切り合いの見られる遺構で、一辺の長さが約45cmの四角い掘り形の中に直径約15cm、深さ約12cmの柱穴甌を検出した。土壌は、堅穴式住居の平面プラン状の四角い様相を呈する可能性もあるが、調査区が狭小なため全容を把握することはできなかった。遺構の深さは15cmから20cm程度と浅く、また北東から北にかけての周縁部分は、幅30cmから40cm、深さ5cm程を溝状に浅く掘り下げていた。埋土内は、遺物に混ざって炭化材も多く見られたが、西南の断面近くでは、焼土の混ざった土壌を検出した。

埋土内より出土した主な遺物には、須恵器、土師器、瓦器などがあるが、この他に石器、壺口縁部等も出土しており、当調査地を含めた周辺域には、中世以外にも弥生・古墳時代の遺跡の存在がうかがえる。



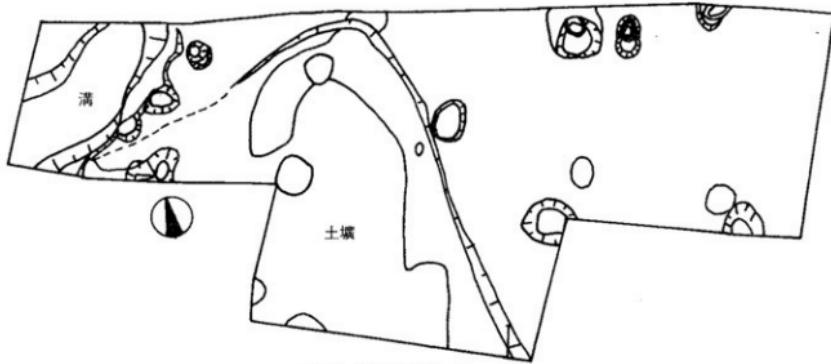


図12 遺構平面図 (1:40)

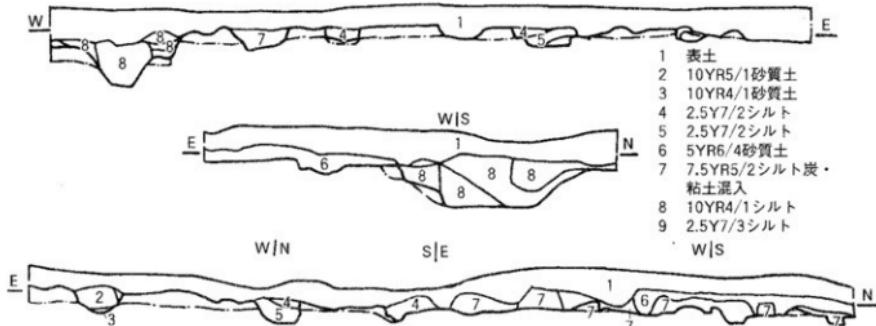


図13 調査区断面図 (1:40)

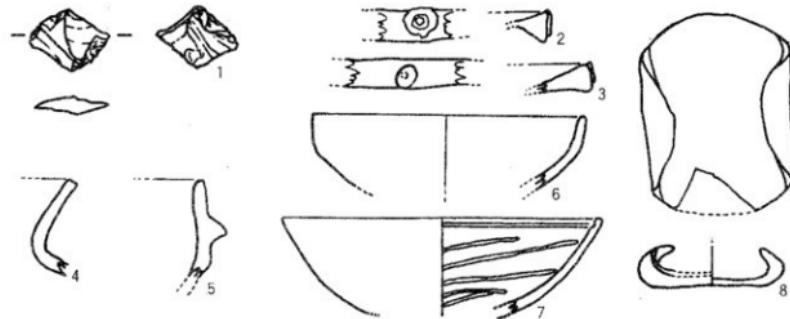


図14 遺物実測図 (1:2)

第3節 星の森遺跡

星の森遺跡2002-3次調査

宅地造成に伴う発掘調査である。調査地付近はなだらかな丘陵の西側斜面にあたり、以前から石器が表面採集されており、旧石器を出土したと伝えられている星の森神社から70m程北へ向かった場所である。

2002-3次調査は、調査地の北側部分に約1.2×2.5m、東側部分に約1.2×2.5mのトレンチを設定し、重機にて約80cm掘削の後、人力による精査を行った。表土下約60cmで、地山層である灰白色砂層となった。第2トレンチ表土内より石器を1点検出した。

星の森遺跡2002-4次調査

調査区は3次調査地を取り囲むように位置し、面積が広範囲に及ぶため、調査区のほぼ中央付近に南北4.3m×東西21.5mの大きさのトレンチを設定し、重機にて約60cmの深さまで掘り下げた。3次調査において地山面は既に削平されていたが、4次調査では現表土である耕作土を約20cmから30cm掘り下げると、その下層に、黄色粘質シルトが堆積していた。この層が地山層であり、上面から溝3本及びピット1基を検出した。調査区西側の溝1は、幅約1m、深さ10cm程で更に一段落ち、幅約70cm、深さ約14cmを測った。中央部の溝2は、幅約30cm、深さ約5cm、ピットは幅約25cm、深さ約8cmであった。出土遺物からこれらの遺構は、近世以降のものと思われる。また遺構面上で石器1点が出土した。



図15 調査地位置図（1：2,500）

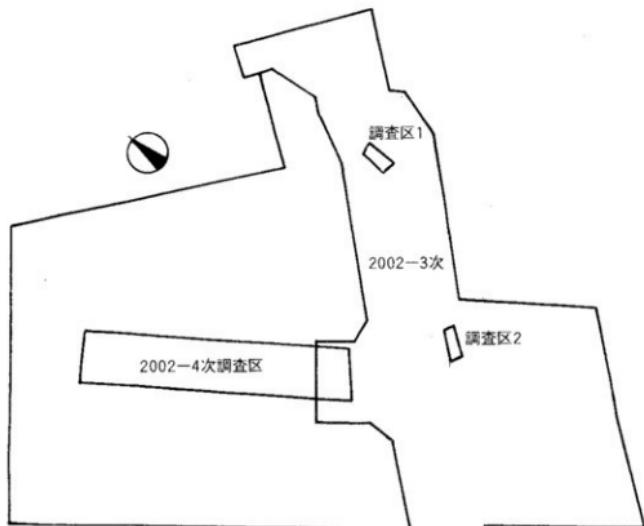


図16 調査区配置図 (1 : 400)



図17 遺構平面図 (2002-4次) (1 : 200)

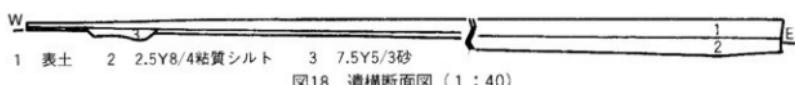


図18 遺構断面図 (1 : 40)

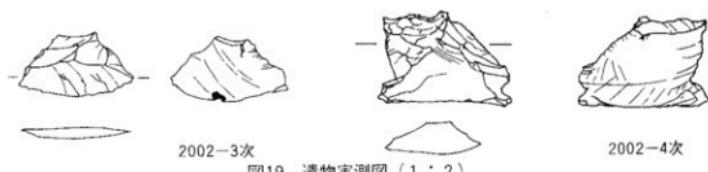


図19 遺物実測図 (1 : 2)

第4節 外殿垣内遺跡

外殿垣内遺跡2002-1次調査

調査地は、昭和59年に行った調査地の西側約200mに位置し、北東部に向けて地形は下降している。

調査は、まず調査地内南側に2.6×5.5mの南側に少し突き出た四角いトレーニングを設定し、重機にて約50cm掘削した後、人力による精査を行った。表土は耕作土層で、黒色シルトが約30cm堆積し、その下層には明黄褐色砂層が15cmほど堆積していた。更にその下層にはぶい黄褐色の砂質土層で、この層の上面で幅10cm、長さ2.7m、深さ5cm程度の溝1条と直径30cm、深さ約15cm、直径48cm、深さ27cmの2段落ちになったピット2基を検出した。外殿垣内遺跡は、これまでの調査で中世の遺跡として知られているが、今回の調査では遺構の時期を特定できるような遺物は検出できなかった。



図20 調査地位置図（1：2,500）

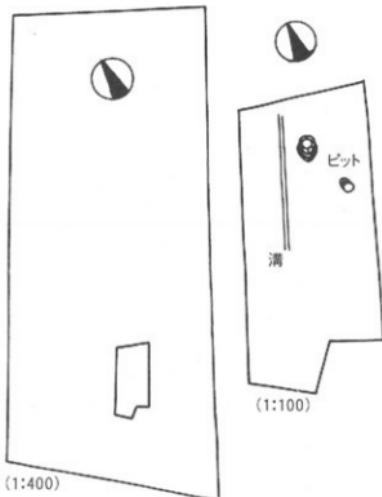


図21 調査区配置図・遺構平面図

図 版



図版1 交野郡衙跡2002－2次調査土壤1検出状況



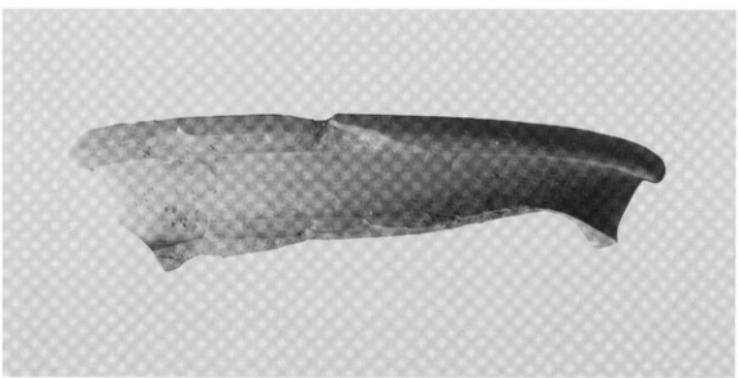
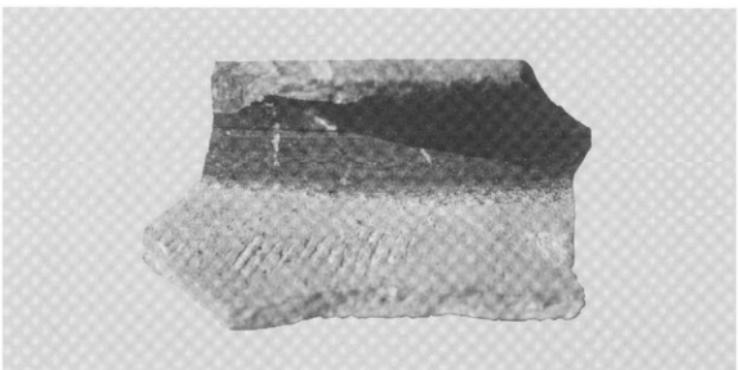
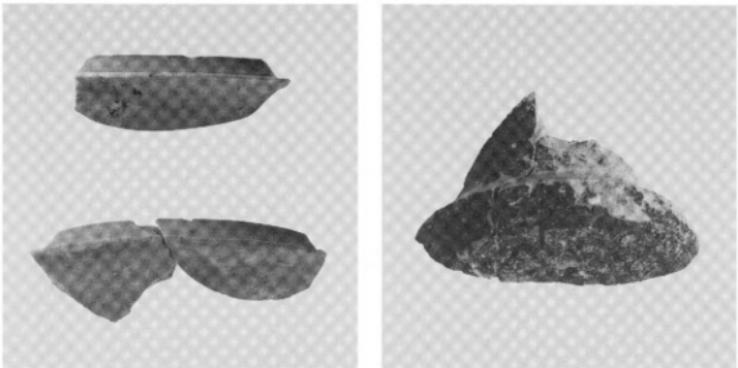
図版2 交野郡衙跡2002－2次調査区全景



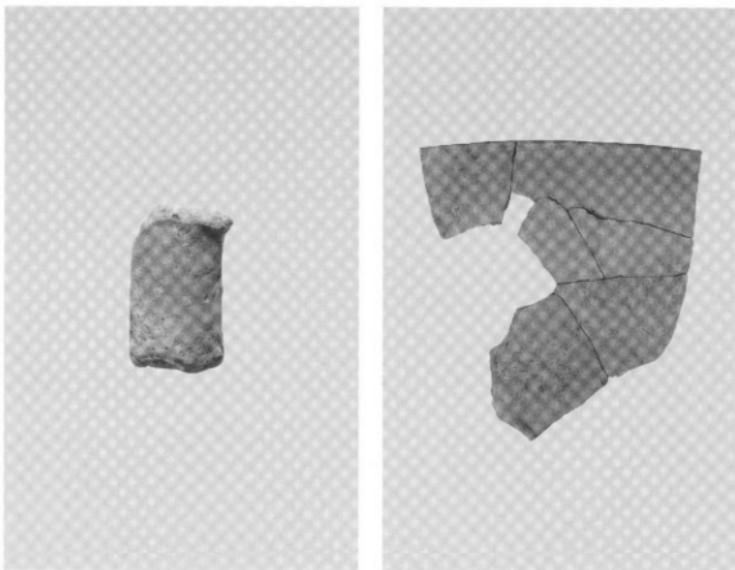
図版3 交野郡衙跡2002—2次調査ピット出土状況



図版4 交野郡衙跡2002—2次調査遺構検出状況



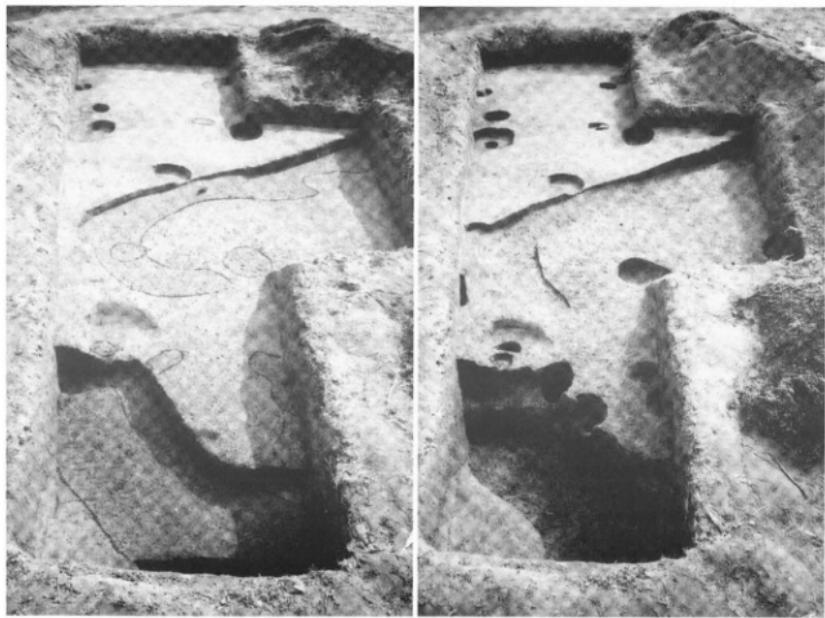
図版5 交野郡衙跡2002—2次調査出土遺物(1)



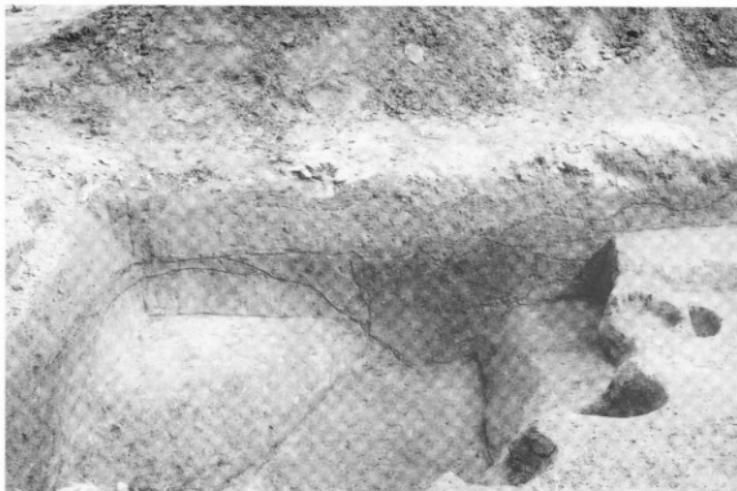
図版6 交野郡衙跡2002—2次調査出土遺物(2)



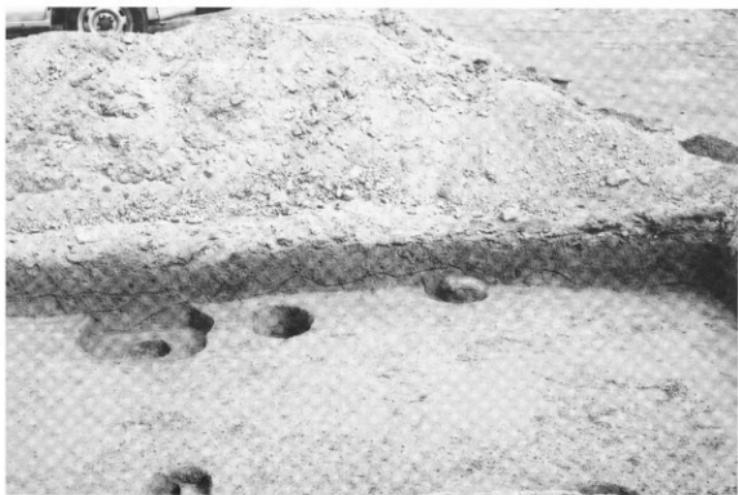
図版7 寺村遺跡2002-1次調査遺構検出状況



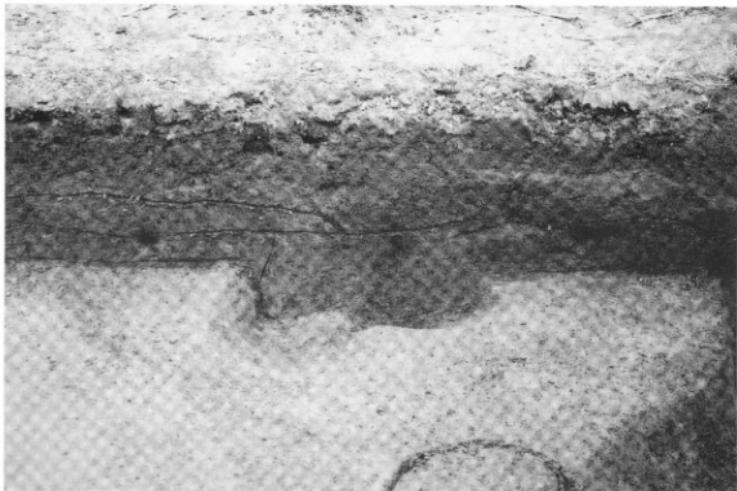
図版8 寺村遺跡2002-1次調査遺構検出(左)完掘状況(右)



図版9 寺村遺跡2002—1次調査溝検出状況



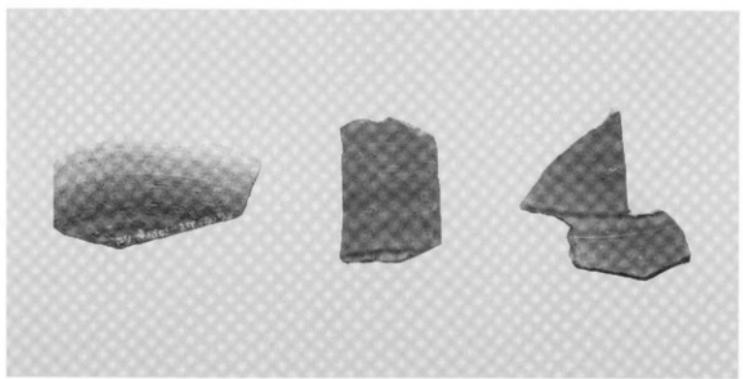
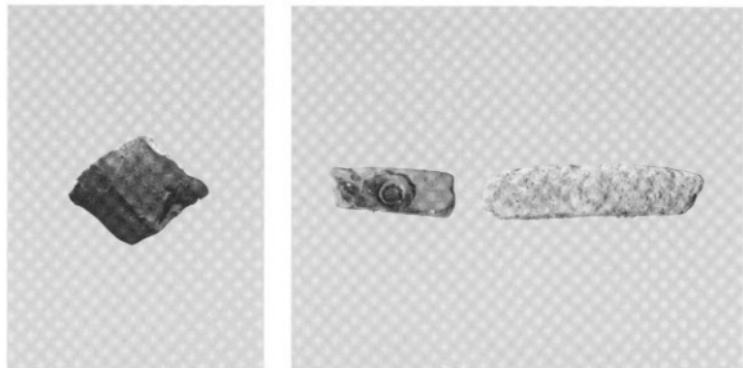
図版10 寺村遺跡2002—1次調査ピット検出状況



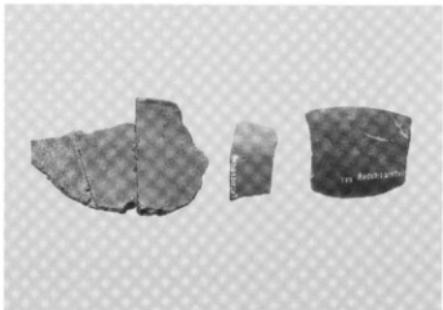
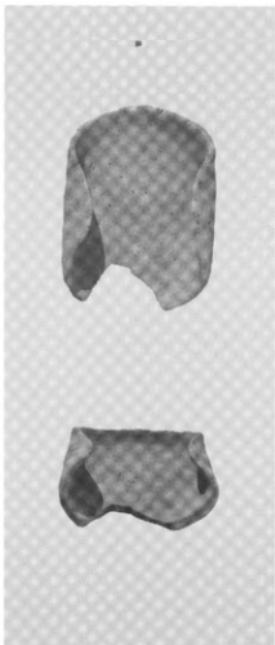
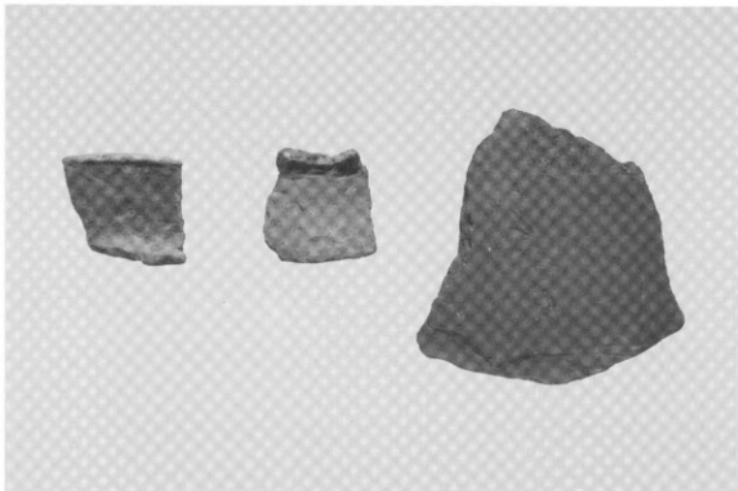
図版11 寺村遺跡2002—1次調査ピット検出状況



図版12 寺村遺跡2002—1次調査遺構完掘状況（東から）



図版13 寺村遺跡2002-1次調査出土遺物(1)



図版14 寺村遺跡2002－1次調査出土遺物(2)



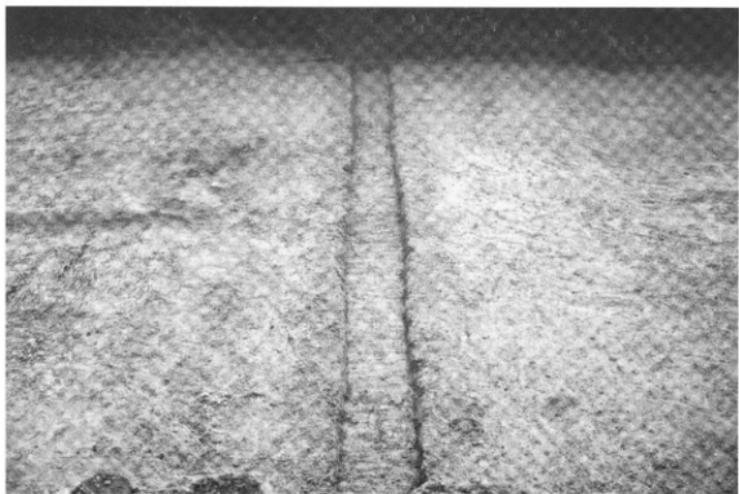
図版15 星の森遺跡2002—3次調査遺構検出風景



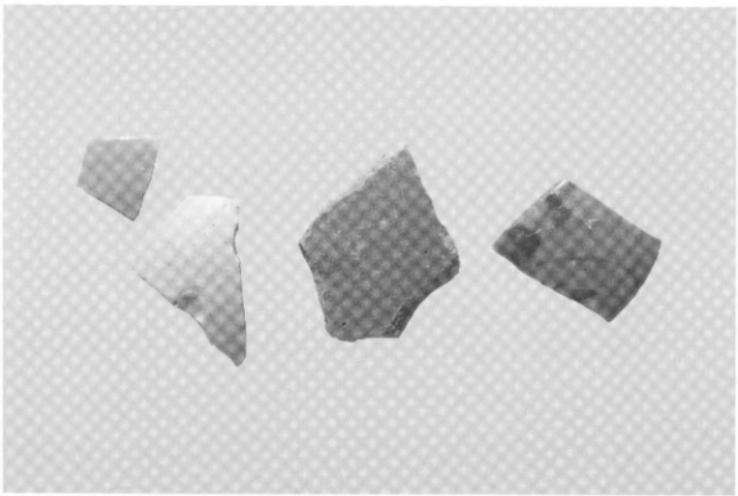
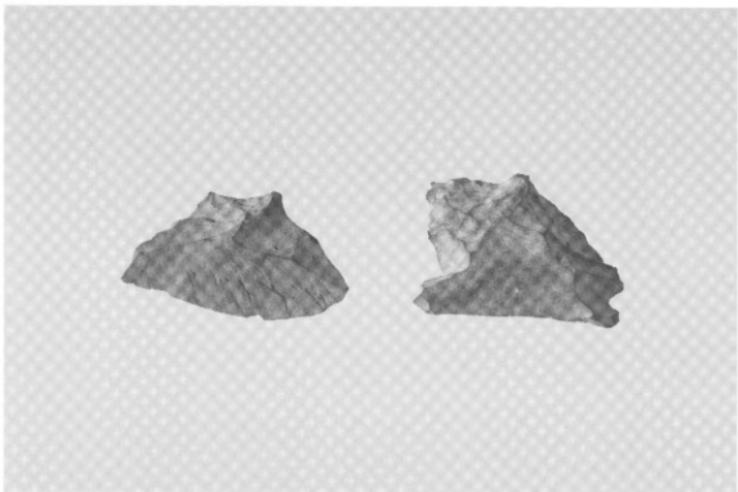
図版16 星の森遺跡2002—3次調査遺構完掘状況



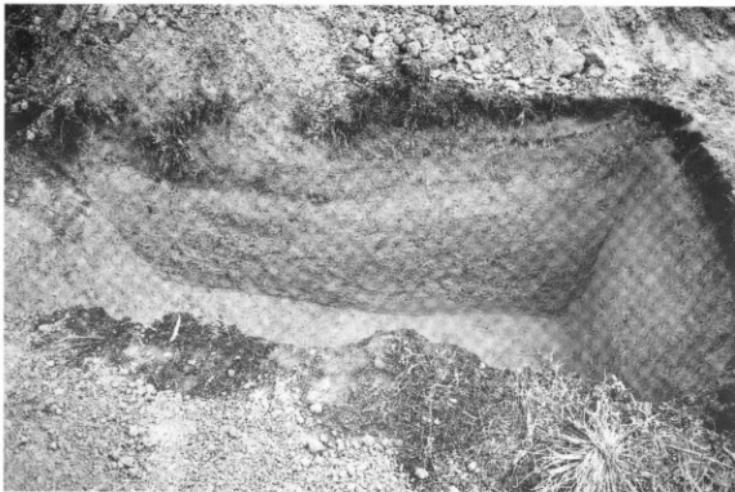
図版17 星の森遺跡2002－3次調査溝1検出状況



図版18 星の森遺跡2002－3次調査溝2検出状況



図版19 星の森遺跡2002—4次調査出土遺物



図版20 星の森遺跡2002—2次調査区



図版21 外殿垣内遺跡2002—1次調査地全景



圖版22 外殿壇內遺跡2002—1次調查遺構面檢出狀況



圖版23 外殿壇內遺跡2002—1次調查遺構檢出狀況

報告書抄録(1)

ふりがな	へいせい 14 ねんどかたのしまいぞうぶんかざいはくつちょうさがいよう							
書名	平成 14 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要							
副書名								
卷次								
シリーズ名	交野市埋蔵文化財調査報告 2002-I							
シリーズ番号								
編著者名	奥野和夫 小川暢子							
編集機関	交野市教育委員会							
所在地	〒576-0052 大阪府交野市私部1丁目1番1号 TEL(072)892-0121							
発行年月日	西暦 2003 年 3 月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
かたのぐんがあと 交野郡衙跡 2002-2次	かたのしきうちづ 交野市郡津	27230		34° 47' 30"	135° 40' 41"	2002.7.18 ~ 2002.8.2	60.43	宅地造成
でらわらいせき 寺村遺跡・ おほたごみん 大畠古墳 2002-1次	かたのじてら 交野市寺	27230		34° 46' 45"	135° 41' 43"	2002.11.14 ~ 2002.11.21	22.74	個人住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
交野郡衙跡	散布地 集落跡 官衙跡	古墳～中世	柱穴 溝 土壙	須恵器 土師器 瓦質土器				
寺村遺跡 大畠古墳	散布地 集落跡 古墳	弥生 古墳 中世	柱穴 溝 土壙	須恵器 土師器 石器				

報告書抄録(2)

ふりがな	へいせい14ねんどかたのしまいぞうぶんかざいはくつちょうさがいよう							
書名	平成14年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要							
副書名								
巻次								
シリーズ名	交野市埋蔵文化財調査報告2002-I							
シリーズ番号								
編著者名	奥野和夫 小川暢子							
編集機関	交野市教育委員会							
所在地	〒576-0052 大阪府交野市私部1丁目1番1号 TEL(072)892-0121							
発行年月日	西暦2003年3月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
星の森遺跡 2002-3次 2002-4次	かたのしきじだ 交野市星田	27230		34° 45' 24"	135° 40' 17"	2002.12.9 ~ 2002.12.11	5.99 91.98	宅地造成 宅地造成
外殿垣内遺跡 2002-1次	かたのじゅんこ 交野市藤が 尾	27230		34° 45' 55"	135° 40' 35"	2002.12.25	15.42	共同住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
星の森遺跡	散布地	旧石器	柱穴 溝	陶磁器 土師器 石器				
外殿垣内遺跡	散布地 集落跡	弥生 古墳 中世	柱穴 溝	須恵器 土師器				

平成14年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発 行 日 2003年3月31日

編集・発行 交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号

印 刷 所 京版工技社

(本報告書は、再生紙を使用しています。)

